

連銀の動きに合わせて

前回の会合（2週間前）で、ジェローム・パウエル議長は、連邦準備制度（連銀、FRB）が金利を据え置くようにまとめ上げましたが、それは容易なことではありませんでした。

連銀理事であるクリストファー・ウォラー氏とミシェル・ボウマン氏の2名が、金利据え置き決定に反対し、短期金利の目標引き下げを公に支持しました。理事2名が反対票を投じたのは1993年以来初めてのことです。しかし、現在の政治的状況下では、来年に任期が切れるパウエル議長の立場を踏まえると、これらの反対は単なる通常の異議とは言えないかもしれません。明らかに、次期議長の座をめぐる選挙活動の一環としての動きです。その意味で、ボウマン氏はさらに踏み込んで、利下げを3回望んでいると公言しています。

そして今、バイデン大統領によって任命されたアドリアナ・クーグラー理事の早期辞任により、トランプ氏には新たな任命権が生まれました。彼は自身の経済諮問委員会の現議長であるスティーブン・ミラン氏を連銀理事に指名しようとしています。ミラン氏が9月中旬の会合までに就任すれば、利下げに賛成票を投じる可能性が非常に高いと見られています。

パウエル議長は利下げに慎重な立場を維持しています。その理由として、関税のインフレ的影響に関する不確実性を挙げています。しかし、これは少々奇妙です。というのも、パウエル氏はCOVID時代の財政支出増加を進んで金融緩和で支えた一方で、所得税や法人税の増税が金利引き上げや利下げペースの抑制を必要とするとは、これまで一度も主張していなかったからです。

一方、トランプ政権は最近、パウエル氏の後任探しの対象を拡大したとされています。元連銀理事のケビン・ウォーシュ氏、トランプ顧問のケビン・ハセット氏（いわゆる二人の「ケ

ビンズ」）に加え、最近異議を唱えた理事たち、元ブッシュ政権のマーク・サマリノ氏、元セント・ルイス連銀総裁のジェームズ・ブラード氏などが候補に挙がっている模様です。

トランプ氏が誰を選ぶのか、予測不能な状況が続いています。

このようなドラマが続く理由は単純です。ひとつは、大統領がドラマを好むということ。そして、もしあなたが大統領であり、ドラマを好むなら、ドラマを起こすことが許されるということ。これぞ「政治学 101（政治の基本）」です。

第二の理由は、大統領が多く候補者を競わせることで、最も有利な条件を引き出す狙いがあるからです。つまり、短期金利の引き下げに柔軟な姿勢を持ちつつも、インフレ抑制に対する市場の信頼を保てる候補を選ぶためです。

そして、第三の理由があるかもしれません。それは、大統領が、ベン・バーナンキ元連銀議長（およびそのとき賛成票を投じたウォーシュ氏とブラード氏）による、20年前の誤った政策決定を覆そうとしているという点です。

その政策とは、銀行の準備金不足の管理で金融政策を実施する伝統的手法から、量的緩和（QE）による準備金過剰のシステムに転換したことです。結果、連銀は短期金利を市場ではなく、自らが準備預金に利息を払うことで操作する体制となり、それにより連銀が巨額の赤字を抱える構造が生まれました。

よく考えてみてください。良くも悪くも、我々の生きているこの時代において、政治的影響力を使ってワシントンのやり方を変えようとしている大統領は他にいません。USAID（国際開発庁）、教育省、国勢調査局、連邦政府資金に依存する大学など、次々に変革の波が押し寄せています。次は連銀かもしれません。

発表日時 (米国中部時間)	米国経済指標	コンセンサス	ファースト トラスト予測	発表結果	前回
8-12 / 7:30 am	消費者物価指数 - 7月	+0.2%	+0.2%		+0.3%
7:30 am	コア消費者物価指数 - 7月	+0.3%	+0.3%		+0.2%
8-14 / 7:30 am	新規失業保険申請者数 - 8月9日	225,000	223,000		226,000
7:30 am	生産者物価指数 - 7月	+0.2%	+0.2%		0.0%
7:30 am	コア生産者物価指数 - 7月	+0.2%	+0.1%		0.0%
8-15 / 7:30 am	小売販売 - 7月	+0.6%	+0.6%		+0.6%
7:30 am	小売販売（除く自動車） - 7月	+0.3%	+0.5%		+0.5%
7:30 am	ニューヨーク連銀製造業景気指数 - 8月	0.0	-7.0		5.5
7:30 am	輸入価格 - 7月	+0.1%	+0.2%		+0.1%
7:30 am	輸出価格 - 7月	0.0%	+0.1%		+0.5%
8:15 am	鉱工業生産 - 7月	0.0%	+0.1%		+0.3%
8:15 am	設備稼働率 - 7月	77.6%	77.6%		77.6%
9:00 am	企業在庫 - 6月	+0.2%	+0.2%		0.0%

情報提供のみを目的としています。投資家向けではありません。ここに掲載されている情報は、投資活動への招待、申し出、勧誘、推奨を意味するものではありません。コンセンサス予測はブルームバーグ社が提供するものです。このレポートは、First Trust Advisors L.P.によって作成されたものであり、著者の意見を反映したものです。正確且つ信頼できる情報源とデータに基づいたものです。意見および将来の見通しに関する記述は、予告なしに変更される場合があります。この情報は、証券の売買の勧誘または売り出しを目的とするものではありません。